

12/4 20時 JTBC ニュース

위안부 영화 상영회서 극우세력 난동…조직적 방해도
慰安婦映画の上映会で極右勢力 動乱、組織的な妨害も

[記者]

先週水曜日(28日)、横浜で慰安婦被害者を扱った映画『沈黙-立ち上がる慰安婦』上映会がありました。市民の自発的な参加による上映会でした。

ここに右翼勢力3人が「映画を見せてほしい」と叫びながら建物の中に乱入した事件がありました。

[アンカー]

当時の映像をしばらくご覧いただけるようですが。

[記者]

右翼の激しい抗議を恐れて主催側の要請で映像はモザイク処理しました。

[アンカー]

映像を見るとすごいちょっと。。。

映像「主催者として言います 帰ってください。警告します。」

「何の警告だ。お前に 何の権利があるんだよ」

[記者]

彼らは主催者側と押し合い、また暴れてから約2時間後に出て行きました。

[アンカー]

かなり粗っぽく見えますが、身分は特定できますか。どんな人たちなのか。

[記者]

同日、上映会場の周辺に現れた右翼団体は一つではありません。

その中には、毎年8月15日に靖国神社を参拝したり、団体に制服を合わせるなど、極右活動を行っている活動家も含まれています。

来たる8日にも上映会が予定されており、特攻隊の服装をした男性たちが訪れているそうです。

製作会社側の説明です。

朴麻衣/映画『沈黙-立ち上がる慰安婦』製作者

「会場の中まで来て、7-8人の特攻隊の服を着た男達が“映画の上映を中断しろ”と30分ほど、抗議しました。」

[アンカー]

右翼の妨害工作は初めてではないと聞きました。実際に上映が取り消されたこともありますか。

[記者]

今年10月には、映画上映を後援する地方自治体に集団で抗議の電話をかけて妨害したり、脅迫メールを送ったりもしました。

最近、韓国の最高裁判所の強制徴用の賠償判決が下され、また慰安婦財団解体のニュースなどに便乗し、右翼のこのような妨害の度合いがますます大きくなり過激になっている状況です。

でも、まだ映画の上映が取り消されたことはありません。

映画を支持する市民の後援で、上映会は着実に進められています。

[アンカー]

それは良かったです。しかし、右翼が狙っているのは、まさにもう映画の上映を中止するか、あるいは制作スタッフを萎縮させることになのでしょうか？。

[記者]

主催側が映画上映を絶対にあきらめないという理由もまさにその所です。

映画『沈黙』は、元従軍慰安婦のおばあさんたちが20年以上、日本政府を相手に闘争を繰り広げてきた記録を描いたドキュメンタリー映画です。

このような製作物が次々と作られ、また歴史を直視しようとする動きが拡散するのを防ぐというのが、この右翼たちの目的です。

この過程で暴言やヘイトスピーチが平然と行われていました。

いくつかの自治体でヘイトスピーチを禁止する条例を制定していますが、すべて防ぐには力不足という状況です。

[アンカー]

はい。東京、ユン・ソルヨン特派員が伝えました。